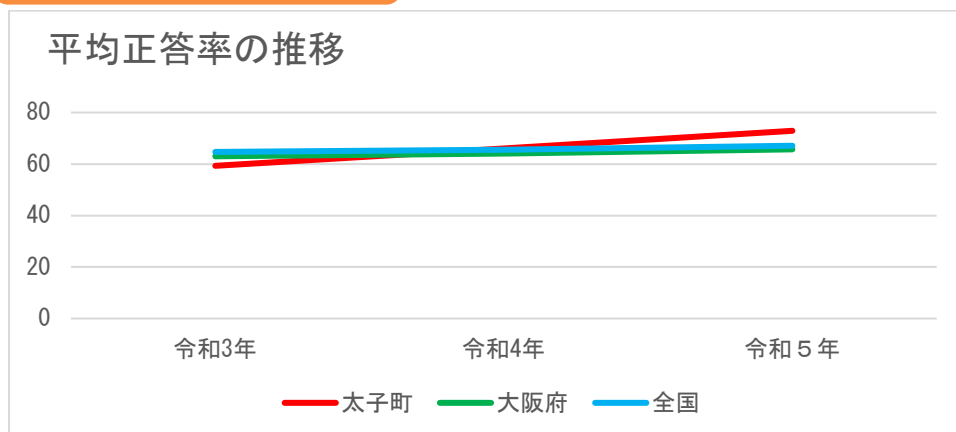




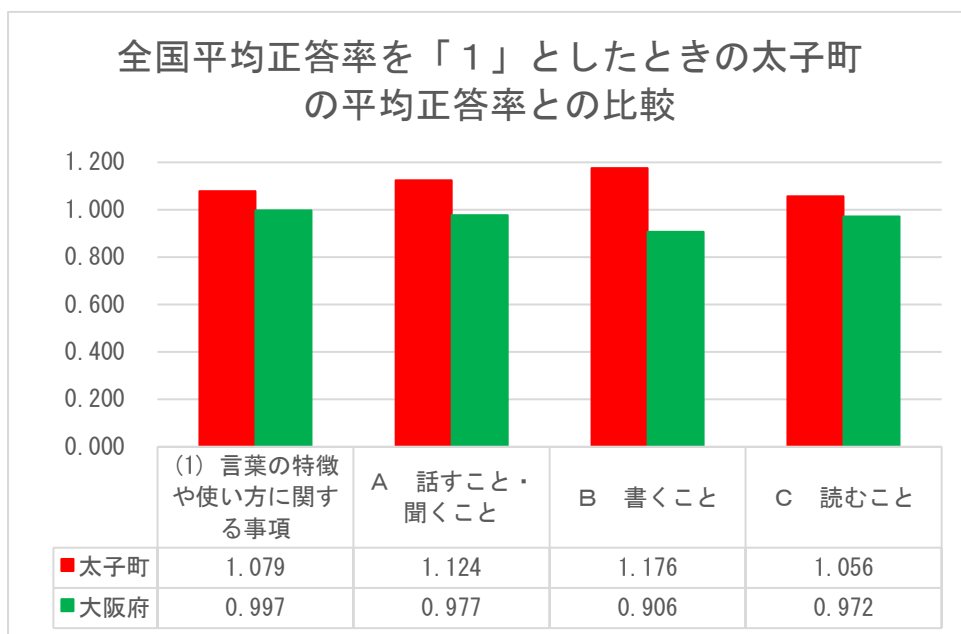
正答率比較



平均正答率は、72.9%で全国(67.1%)を5.8ポイント上回り、大阪府(65.7%)を7.2ポイント上回った。



学習指導要領の内容別比較



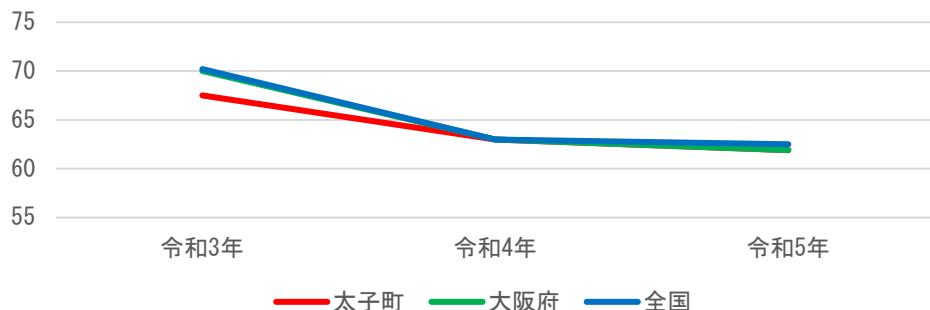
全ての項目で全国平均と比べて数値が上回った。これは、各小学校が各校の課題と正対し組織的に取り組んだ成果と考えられる。例えば、朝の時間を活用し苦手な文法に絞っての取り組みや、思考を促す仕掛け作りを教科をまたいで取り組むなど、各校が工夫を凝らして取り組んだ。

質問紙調査より

質問紙「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか？」への肯定的な回答が高かった点が注目されます。これは、小学校がこれまで国語の授業研究をしてきた成果が背景にあると考えられ、児童が国語の学びに対して目的意識を持って取り組んでいることが伺えます。

正答率比較

平均正答率の推移

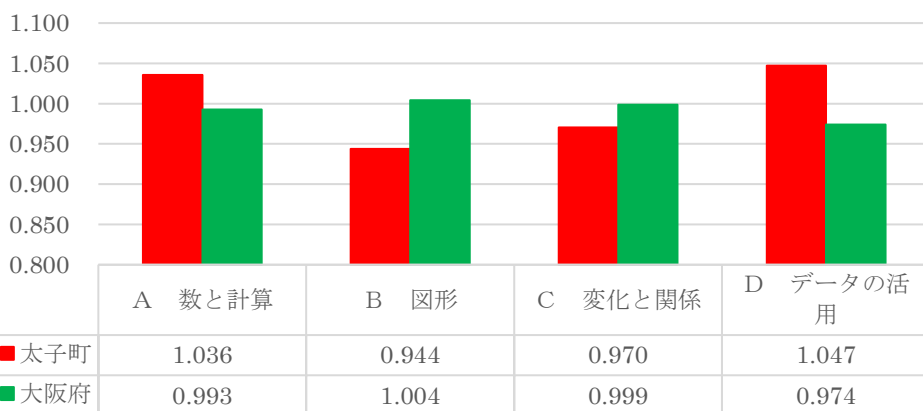


平均正答率は、61.9%で全国(62.5%)を0.6ポイント下回り、大阪府(61.9%)と同じ値であった。



学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



全国平均と比べ、これまで課題として見られていた「データの活用」に関しては改善の傾向が見られる。

一方、図形・変化と関係で課題が見られた。



成果と課題

平均正答率は、少しずつではあるが、上がってきた。各校のこれまでの分析と分析に基づく取り組みが徐々に成果につながってきているものと考え。

引き続き、各校が課題と正対し学校全体での取り組みを進めることが大切となる。

